

<全体方針>

コミュニティ等への支援と共に、地域住民や企業、教育機関、市民活動団体など多様な主体のまちづくりへの参加を促し、島の活性化やスポーツ振興等の推進につなげる。また、市民交流活動センター「マルタス」を活用し、引き続き市民活動・交流の推進と街なかの活性化に取り組む。

また、市民の皆様が心から豊かさを実感し、本市の魅力を高めるため、文化芸術の振興や観光・交流促進を推進するとともに、新市民会館の整備についても計画に基づき着実に進める。

図書館については、庁内各部署の施策推進・普及と連携した図書展示など図書館資料の活用を進めるとともに、電子図書館システムの導入にあたり、公立小中学校での図書館資料の活用が図れるよう市教育委員会等と連携しその取組を進める。

<課ごとの指導方針>

地域づくり課

「第2次協働推進計画」に基づき、マルタスを十分に活用しながら市民活動を支援するとともに、交流会や講座などの開催により、多様な人たちの交流や対話を生む機会を設ける。また、より多くの市民に協働に関する理解を広げ、協働事業が活発に行われるようにするため、協働推進のために必要な要素や考え方を整理したマニュアルを作成し、活用する。

地域住民を主体としたコミュニティ活動への支援と基礎組織である自治会の加入率の維持・向上に努めるとともに、地域活動の拠点となるコミュニティセンターの計画的な整備を進める。離島振興については、島民の日常移動にかかる航路運賃の支援や来島者が島で快適に過ごすことができるよう環境整備を進めるとともに、島の魅力や日本遺産などの取組を情報発信し、子育て世代をターゲットとした移住促進や企業・団体など外部人材を活用した島しょ部の活性化を図る。

まなび文化課

「第4次生涯学習推進計画」に掲げる3つの基本目標「多様な学びのための環境づくり」、「学びでつながり、学びを活かすまちづくり」、「まち全体が学校となる環境づくり」に沿って、生涯学習を推進するための取り組みを実施し、基本理念である「多様な学びでつながる ひと・まち・未来」の実現を目指す。

生涯学習推進については、子どもも大人も学び合い、育ち合う地域づくりのための環境整備と学びの機会の提供を行う。今年度末に閉館を迎える生涯学習センター閉館後の事業展開も見据えながら、ハード、ソフトの両面で準備を行うとともに、閉館記念イベントなどを実施し、生涯学習への関心を高める。

また、「丸亀市文化芸術基本計画」の基本理念「新しい価値と新しいつながりを生み出す」を実現するため、基本計画に定める5つの重点施策「子どもたちの文化芸術活動の充実」、「文化芸術による新たな価値の創造・発信」、「文化芸術の持つ社会包摂機能の活用」、「瀬戸内国際芸術祭を通じた広域的な交流の促進」、「新市民会館の整備」に主眼を置き、各重点課題の解決に向けた取り組みを推進する。

具体的方策の実施にあたり、各事業の直接的な結果だけではなく、事業によって起こる変化や中長期的な成果を見据え、持続可能な仕組みづくりや将来に向けた人材育成にも併せて取り組む。

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、丸亀市綾歌総合文化会館においては、文化施設の本質的役割を果たす運営はもとより、未来を担う子どもたちへの文化芸術の提供、多様な主体との協働や連携による事業への取り組み、文化芸術の社会的役割を活かした施設の利活用促進に努める。

瀬戸内国際芸術祭は、同年に開催される「大阪・関西万博」を念頭に国内外への情報発信を行うとともに、早期に受入環境の整備に着手する。また、非開催年も本島を訪れ、芸術祭を楽しめる島内外での関連事業を着実に展開するとともに、持続可能な実施体制を構築する。

新市民会館については、工事計画に沿って遅滞なく建築工事を進め、令和8年2月の完成を目指していく。並行して市民会館の管理運営を行う指定管理者に対し、これまで市が実施してきた事業の引継ぎや運営体制の構築といった、開館準備を進めていく。

図書館

図書館においては、引き続き庁内各部署と連携した取組を推進し、情報提供や読書活動の支援を行うとともに、第4次「丸亀市子ども読書活動推進計画」に基づく各施策を実施する。また、市民の読書環境の拡充や来館が困難な利用者に対する利便性の向上、子どもの読書活動の推進等を図ることを目的とし「電子図書館システム」を導入する。

スポーツ推進課

「第3次丸亀市スポーツ振興ビジョン」に基づき本市のスポーツの更なる活性化を目指す。そのため、新たに整備したスケートボードパークやみなくる広場など、本市のスポーツ施設を利活用し、誰もがスポーツに参加できる環境づくりに取り組む。さらに、市民の健康寿命延伸につながるスポーツへの意識強化と習慣づくりのため、スポーツ推進委員による地域スポーツ活動の推進を図るとともに、「香川丸亀国際ハーフマラソン大会」の開催により本市のスポーツ振興及び地域活性化や、「女子サッカーの聖地」としての女子サッカーの裾野拡大をはじめとする子どもたちのスポーツ環境整備に取り組む。

また、「体育施設長寿命化計画」、「丸亀市総合運動公園再配置計画」に基づき、利用環境の向上と安心安全な利用に向けて、施設の改修や設備の更新を継続して進める。

令和6年度 各課の重点的取組					最終評価	
課名 (連携が必要な部署)	重点課題	課題解決に向けた 具体的方策	成果目標	総合計画	評価 (予定どおり・遅れている)	現在の状況
地域づくり課	★市民交流活動センター (マルタス)の活用 【重点プロジェクト】	●市民活動登録をした団体 や新しい活動者等の継続的 な活動を支援する。	○来館者数:70 万人(年 間) ○市民活動登録数:250 件(年度更新)	No.73 28-②-1,2 28-③-1,2	C	○来館者数:808,292 人(年間) ○市民活動登録数:251 件

		●市民活動者を対象とした各種セミナーや、活動者等が対話を通じて交流できる事業を開催する。 ●新たな担い手育成のための事業を行う。	○セミナー及び交流会の開催件数:18件 ○若い世代や事業者等を対象とした講座や講演会の開催(年2回)			○セミナー及び交流会の開催：28件 ○若い世代や事業者等を対象とした講座や講演会の開催(9回) 市民活動者への支援・育成に重点をおいた事業を実施できている。
地域づくり課	★協働のまちづくりに関する理解促進	●協働に必要な要素や考え方を整理したマニュアルを作成し、活用する。	○マニュアルの作成(R7.3月)	28-②-1,2	D	○マルタスと連携して作成しており、市民活動者の意見の反映や内容の充実のため、完成が遅れている。令和7年5月末完成予定。
地域づくり課 (全庁)	★自治基本条例の推進【重点プロジェクト】	●自治推進委員会からの提言等に基づく取組の展開	○パブリックコメント等の改善 ・「市民意見・公募委員の募集の手引き」の見直し	No.72	C	○自治推進委員会に諮り、「市民意見・公募委員の募集の手引き」の見直しを予定どおり行った。
地域づくり課	★コミュニティ活動への支援と自治会加入促進【重点プロジェクト】	●コミュニティ及び自治会の活動に対する人的・財政的支援を行う。(運営助成金、地域担当職員による運営支援等) ●地区連合自治会と連携し自治会未加入世帯への働きかけを行う。(自治会加入推進員による訪問活動等)	○コミュニティ・自治会長研修会の開催 ○地域担当職員連絡会の開催による研修、情報共有(年4回) ○自治会加入推進員や自治会加入マニュアルによる自治会の設立(5件)	No.75	C	○8月に研修会を開催し、自治会長・コミュニティ役員など206名が参加した。 ○地域担当職員に対して、ワークショップや情報共有、協働のまちづくり講演会や協働推進研修を行った。(6回) ○自治会加入推進員が地域役

						員とともに分譲地等でチラシ配布や戸別訪問・勧誘を行い、新たに1自治会が設立(R7. 4)予定である。 協定書の締結に基づいて、マンションに出向き、加入促進のお願いをするとともに、既設マンション 20 棟に啓発チラシを配布した。 自治会設立については、7年度に1件設立だが、コミュニティ・自治会長の研修や地域担当職員の連絡会に関しては、目標を上回っているため、一定の成果はあった。
地域づくり課 (建築住宅課)	★地域活動拠点の整備	●コミュニティセンターを計画的に整備する。	○コミュニティセンターの整備 飯山北:整備工事着手(R6.6)	29-②-1	C	○飯山北コミュニティセンターの整備工事に着手し、予定通りの進捗状況(8割)である。
地域づくり課 (産業観光課) (文化財保存活用課)	★島の魅力発信と移住・定住の促進 【重点プロジェクト】	●日本遺産「石の島」を含め、塩飽 5 島の魅力を発信する。 ●移住・定住の促進や外部人材の活用を図る。 ●航路利用者増加に向けた	○都市部でのプロモーション事業など PR 活動(イベント等)の実施(3回/年) ○移住者(5名) ○コミュニティバスと	No.21	C	○「丸亀お城まつり」や「島旅フェス」、日本遺産イベント等への参加によるPR活動を実施。(8回/年) ○移住者(広島:6名) ○増加乗客数

		取組を推進する。 ●万博や瀬戸内国際芸術祭開催によるインバウンド対応として、公衆トイレを整備する	連携した乗船料無料デーの実施（毎月20日） （乗客数4,000人増） ○本島（1カ所） 広島（2カ所）			（毎月20日前年比 :約9,000人増、約2.5倍） ○本島（泊港:1カ所） 広島（王頭山入口:1カ所、 心経山登り口:1カ所）
まなび文化課 （学校教育課）	★地域学校協働活動の推進 【重点プロジェクト】	●地域コーディネーターのレベルアップを図る。 ●地域学校協働活動に関する理解を広げるための広報を行う。	○現役コーディネーター交流会、視察研修の実施（年2回） ○地域学校協働活動ハンドブックの作成と活用（R7.1月作成）	No.58	C	・地域コーディネーター養成塾を開催し、現役コーディネーターも含めて視察研修や交流を実施した。（全6回） ・ハンドブック作成は事例収集等を実施し内容充実を図るため、次年度以降に見送った。各本部が行う広報活動の支援を行った。
まなび文化課	★生涯学習機会の充実 【重点プロジェクト】	●時間帯にとらわれずに学べる機会を提供する。 ●生涯学習センター閉館という節目の機会を活用した生涯学習への関心を高める事業を行う。	○講座の動画配信を実施（1講座以上） ○閉館イベントの実施（R6.11月を中心に）	No.59	D	・動画配信については、今年度において講座の在り方、対象者、内容等を再検討したため、次年度以降に見送った。 ・11/16、17に生涯学習まつりを実施したほか、閉館イベントとして4月実施の思い出写真展の募集を周知した。

まなび文化課	★生涯学習センター閉館に向けた準備	●関係団体との調整や備品の整理を行う。 ●生涯学習センター閉館後の生涯学習活動の受け皿確保と事業の見直しを行う。	○スケジュールに沿った推進 ○利用可能な施設の洗い出しと利用調整 ○既存の生涯学習事業の見直し		C	・閉館後の施設の整備と利用の調整を生涯学習クラブ等の団体へ行っている。 ・市民学級の講座の把握と見直し作業を行っている。
まなび文化課	★文化施設を拠点とした文化芸術の振興 【重点プロジェクト】	●優れた現代美術等の鑑賞機会の提供 ●多様な教育普及事業の実施 ●子どもとの来館で親の観覧料を無料とする「親子でMIMOCAの日」の実施	○美術館の利用者数 120,000人 R2年度 72,859人 R3年度 66,956人 R4年度 100,667人 R5年度 112,893人	No54	C	【美術館】 ・企画展及び常設展の開催 (3/10～6/2、6/30～9/23、10/12～1/13、1/26～3/30) 来場者数 62,164人 (うち常設展 33,769人 企画展 28,395人) R6年度利用者数 108,497人 ・紙や毛糸など身近な材料で自分だけのヘッドピースをつくるなどワークショップを12回行い、1,356人の参加があった。また、市内全小学3年生を対象とした来館プロジェクトで、14校が来館した。 ・「親子でMIMOCAの日」を常設展、企画展にて2日間ずつ4回開催し、子ども575人、同伴者619人

		●ゲートプラザを活用した事業の実施 ●R6年度に募集する「第6期指定管理者業務の基準」「指定管理者募集要項」の策定 ●優れた舞台芸術等の鑑賞機会提供	○綾歌総合文化会館の利用者数 140,000 人 R3 48,983 人 R5 131,278 人		が参加した。 ・ゲートプラザ活用事業として「音と食」をテーマにしたイベントを開催した(11/23)。地元の実行委員会と協力して、ゲートプラザを中心に実施会場を商店街にも設け、駅前の賑わいを創出した。9,240 人が来場した。 ・指定管理者を指定するため、10 月までに指定管理者業務の基準及び募集要項を策定した。10 月に非公募により募集し、11 月に選定委員会にて候補者を決定した後、12 月議会にて議決を経て指定した。 【綾歌総合文化会館】 ・綾歌総合文化会館の年間利用者数は 124,933 人。 ・優れた舞台芸術等の鑑賞機会を提供するために、鑑賞型事業を実施した。(31 回) 鑑賞型事業のうち、(一財)地域創造の助成金を活用し、他館と連
--	--	---	---	--	--

		●市民、市民団体の文化芸術活動への積極的な支援 ●子どもたちの文化芸術活動の充実 ●市民会館開館に向けた試行的事業の実施 ●大規模改修工事の計画の策定			携した演劇公演を実施した。 ・市民、市民団体による文化芸術活動の発表やこどもの芸術体験機会の場として「芸能フェスタ丸亀 2024 まるっとえにしいち」を開催（10/19・20）した。 ・丸亀市少年少女合唱団のコンサート（3/30）や0歳からのコンサート（5/19）などを開催した。 ・丸亀市民会館の開館準備事業として、音楽、ダンス及び演劇事業を市内の小学校に実施した。また、未就学児を対象とした演劇公演や演劇的手法により認知症の方の気持ちを理解するコミュニケーションワークショップ等を実施した。（延べ参加者数2,079人） ・綾歌総合文化会館の大規模改修工事については、長寿命化計画における未施工項目、貸し部屋の機能転換及び運営者や利
--	--	---	--	--	--

						用者の要望を反映した基本設計を作成している。
まなび文化課	★多様な主体と連携した文化芸術の振興 【重点プロジェクト】	●指定管理者や文化振興事業協議会等との連携によるコミュニティや小学校、幼稚園等への出前鑑賞教室等の実施	○アウトリーチ事業への参加者数 5,400 人 ※綾歌総合文化会館 芸術鑑賞教室 R1 : 3,747 人 (16 回) R5 : 1,424 人 (10 回) 地域出前文化教室 R1 : 1,011 人 (8 回) R5 : 233 人 (4 回) ※美術館 ・どこでも MIMOCA H30 : 551 人 (20 回) ※文化振興事業協議会 ・芸術体験プログラム R1 : 321 人 (4 回) R5 : 442 人 (11 回)	No.55	C	・綾歌総合文化会館ではアウトリーチ事業として、市内小学校(3校 424 人)で鑑賞事業、市内中学、高等学校(2校 40 人)で演劇ワークショップを実施した。また、インリーチ事業として、市内小学生を会館へ招待し、瀬戸フィルハーモニー交響楽団による鑑賞会を実施した。(14校 938 人) ・丸亀市民会館の開館準備のうちアウトリーチ事業として、子どもたちの自由な発想力やコミュニケーション力など非認知能力を養うため、市内小学校(13校 985 人)でワークショップ、放課後等デイサービス(3施設 64 人)、市内幼稚園・保育所・こども園(10施設 789 人)で演劇公演を実施した。 ・文化振興事業協議会では青い鳥教室でアウトリーチを4回(174 人)実施した。また、子どもの豊かな創造力、表現力を育むため

		●文化協会会員の技能を生かし、若い世代の参加の機会とするワークショップ等の実施 ●若手芸術家支援事業の採択者やHOTサンダルプロジェクトの卒島生との関係を活用した公演やワークショップ等の実施 ●年間を通じたアーティストインレジデンスの検討				のワークショップなど 7 回(422 人)実施した。 ・お城まつり協賛こどもワークショップとして、フラワーアレンジメント、ちぎり絵などのワークショップを実施し、49 人が参加した。(5/3) ・HOTサンダルプロジェクトでは、卒島生が関わる対話型鑑賞会を実施予定だったが、台風接近の影響で中止となった。 ・アーティストインレジデンスの実施も視野に、本島での文化芸術活動の拠点となる物件を調査した。また、HOTサンダルプロジェクトを参照し、通年化で実施できるレジデンス型事業の検討を行った。
まなび文化課	★瀬戸内国際芸術祭との連携 【重点プロジェクト】	●本島実行委員会との連携によるスタートイベント実施 ●継続作品の活用（ART SETOUCHI 等）や周辺自治体、文化施設等と連携した地域振	○スタートイベント開催（1 回） ○作品を巡るバスツアー（4 回）、瀬戸芸作家によるプレイベント（2 回）	No.56	C	・随時情報発信を行っている。 ・広域及び周遊型観光の振興を目的として、会期を同じくする多度津町や宇多津町と連携事業を

		興策の実施 ●ボランティアガイド・スタッフの育成 ●作品配置計画に沿った受入環境整備 ●大阪・関西万博（2025 年開催）を見据えた海外（欧米）	○研修会の開催（3 回） ○必要な整備内容の整理、早期着手 ○インターネット及び関係機関等を通じた情報発		検討した。 ・県と連携し、旅客船無料キャンペーンを活用して、屋内作品の一般公開を実施し、180 人来場した。（10/19、10/20） ・継続作品や本島の文化財等を巡る親子バスツアーを実施し、172 人が参加した。県との連携により屋内作品 2 作品公開した。 ・瀬戸芸のボランティアガイド養成講座を開催し、座学の基礎編に 7 人が、親子バスツアーのガイドを行う実践編に 4 人が参加した。本島ガイドやこえび隊が講師として指導を行った。 ・作品候補地をリストアップし、現地確認の上、優先順位を決定した。また、笠島地区においては「まちなみ保存協力会」の協力のもと、空き家で使用できる家を確認した。 ・インバウンド対策として、昨年度作成した本島の海外プロモー
--	--	--	---	--	---

		へのプロモーション及び国内 も含めた情報発信	信			ション用英語版パンフレットを 他の言語（ハングル、簡体字、繁 体字）に翻訳した。（データ作成）
まなび文化課	★新市民会館の整備 【重点プロジェクト】	●工事の施工 ●指定管理者と開館に向け、 市民会館の設置理念の共有や 市の事業の引継ぎ、管理運営 体制の構築など準備を行う	○新市民会館の供用開始 令和8年9月開館予定	No57	C	・工事は令和8年2月の完成に 向けて、遅滞なく進んでいる。 ・丸亀市民会館の指定管理者と ともに、会館運営のマニュアル作 成や備品調達の検討等、開館準備 を行った。また、設置理念を踏ま えた事業として、障がいの有無に 関わらず多様な方が鑑賞できる 音楽コンサートの実施や、様々な 分野を繋げながら社会課題にア プローチするという文化芸術の 可能性を考えるアーティスト・コ ーディネーター養成講座を開催 し、人材育成にも努めている。
図書館	★庁内各部署や市内各施 設と連携した取組の推進	●各課や関係施設における課 題・取組に関する展示や資料 の紹介を行い、情報提供や活 動支援を行う。	○図書館を利用した企画 展示：年20回 ○フェイスブックの更 新：月2回	23-③-1	C	○企画展示:21回 ○フェイスブック更新:20回 今後も本市施策等の情報提供や 啓発等の活動支援を行うとともに 図書館の利用促進に努める。
図書館	★「第4次子ども読書活 動推進計画」の推進 【重点プロジェクト】	●「中央図書館おはなし会」 等に加えて3館連携による講 座等を開催し、読書推進の機	○マルタス等における図 書館事業の継続：月1回。 読み聞かせ講座等の開	No59	C	○おはなし会:3館にて月1回 郷土の歴史講座6回(マルタス) 読み聞かせ講座3回(3館)

		会を提供する。 ●誰もが読書に親しめる環境の整備に努める。	催：年3回 ○電子図書館システムの導入			今後も事業を継続し読書推進の機会を提供する。 ○令和7年3月1日電子図書館開館。3月:利用者 751 名、閲覧 2889 回、貸出 1332 点 今後は学校での利用環境に応じた取組みを進めていく。
スポーツ推進課	★市民が安全・快適にスポーツを楽しめる体育施設の整備 【重点プロジェクト】	●老朽化した体育施設の改修 ●体育施設照明のLED化の推進	○体育施設整備件数（R6年度目標:4件） ・飯山総合運動公園体育館長寿命化改修 ・トイレ改修（三浦運動広場） ・市民球場グラウンド人工芝等改修 ・体育施設照明LED化（飯山総合運動公園多目的広場・テニスコート、三浦運動広場、丸亀市運動公園テニスコート他）	No.62	C	・飯山総合運動公園体育館長寿命化改修はR8.3に完了予定 ・トイレ改修（三浦運動広場）は完了 ・市民球場グラウンド人工芝等改修は完了 ・体育施設照明 LED 化においては、飯山総合運動公園多目的広場、三浦運動広場、丸亀市運動公園テニスコートは改修完了 飯山総合運動公園テニスコートは、利用面等を考慮し、コート面改修に併せて照明設備の LED 化を行うようスケジュールを見直し、翌年度に繰り越した。 ・概ね予定の進捗が図れた。
スポーツ推進課	★丸亀市民球場及び地域密着型プロスポーツ等を	●地域密着型プロスポーツ開催時に積極的にシティセール	○市民体育館・総合運動公園・市民球場のコロナの影響	No.61	B	市民体育館・総合運動公園・市民球場の利用者数 R6 年度：合計

	活用したにぎわい創出 【重点プロジェクト】	スを実施する。 ●市民球場を活用し、地元住民が幅広く訪れる機会を提供する。	響による利用者数の回復 (R4年度202,051人⇒R6年度目標：合計220,000人)			284,645 人 ・当該施設利用者数は、回復基調にあり、目標数値を 30%近く上回った。
スポーツ推進課 (秘書課)	★女子サッカーなど競技スポーツに取り組む子どもたちへの環境づくりとスポーツ習慣の促進 【重点プロジェクト】	●女子サッカー推進事業を実施し、スポーツ環境の整備と子どもたちへの競技推進を図る。	○サッカー交流大会の実施及び子どもたちのスポーツの普及促進 (R7年2月実施予定：16チーム予定)	No.61 24-①-1,2	C	11 チーム、157 人参加 参加チームは目標数に達しなかったが県内、近隣県よりの参加があり子どもたちの交流ができた。また、女子サッカー実業団チームによるサッカー教室を開催し、女子サッカー普及啓発につとめた。
スポーツ推進課	★香川丸亀国際ハーフマラソン大会で本市の魅力を国内外に発信 【重点プロジェクト】	●第77回香川丸亀国際ハーフマラソン大会の開催に向けて、関係団体と協議する。 (主催者・事務局代表者会、幹事会、組織・実行委員会)	○地域住民の活力となる安全安心な大会の開催 (R7年2月1日、2日予定)	No.61	C	R7 年 2 月 1 日、2 日開催、申込者数 10,361 人、出走者 9,091 人、完走者 8,823 人 ・出走エントリー数は、定員枠まであと一歩のところまで回復している。
スポーツ推進課 (福祉課) (健康課)	★市民の心身の健康づくりにつながるスポーツの推進 【重点プロジェクト】	● スポーツ推進委員や市関係課等と連携し、ウォーキングの推進や障がい者スポーツへの支援等を行う。 ● (公財) 丸亀市スポーツ協会や市関係課等と連携し、運動習慣定着に向けた取り組みを推進する。	○健康ウォークの実施 ○ スケートボード大会等及び教室への参加者数：延べ100人 ○スポーツ協会主催事業の検証及び事業拡大に向けての指導 ○チャレンジウィークでの協力団体数：20団体	No.60 24-①-2 24-③-1～3	C	・スポーツ推進委員が主催するモルック研修、シニアスポーツ大会、のんびりウォークを支援した ・AJSA 中四国アマチュアサーキット開催に協力した(日本スケートボード協会)。 ・スポーツ協会主催事業は、里山歩き入門、運動会必勝塾、指導者養成事業などを実施した。

			○生涯スポーツの参加者数：各種大会・事業、少年スポーツ活動、学校体育施設開放事業における参加者数（R4年度269,743人⇒R6年度目標：280,000人） ○市内体育施設の利用者数（R4年度⇒628,036人R6年度目標：640,000人）			・市主催ではふるさと健康ウォーク、スケートボード教室、市民体育祭、中讃陸上競技大会を実施した。 ・チャレンジウィークでは40団体が協力 ・生涯スポーツの参加者数はR7.6判明予定 ・市内体育施設の利用者数 R6 年度 685,224 人 体育施設利用者数は目標数値を上回った。
--	--	--	---	--	--	--